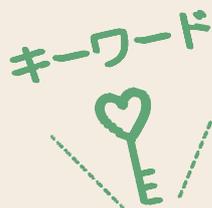


私の中国語 + R

※2020年度インタビュー

文学部 Tさん



- # 中国史について学びたい # 海外で働きたい
- # レベルの低いクラスになる # 文字は読めても話せない
- # 短期留学 # 長期留学 # 孔子学院 # 音読
- # 友人や先生が存在 # 自ら中国語に触れる時間を作る # 悔しさをばねに



入学当初は、中国史には興味があったものの、特に語学としての中国語については興味があるわけではありませんでしたが、中国史について専門を深める中で役に立つことがあるかもしれないと思い、初修語は中国語を選択しました。最初はなかなかやる気が出ませんでした、冬に中国に実際に訪れるイニシエーション実習*に参加する機会があり、それがきっかけとなり、今まで思っていた中国のイメージとは異なる想像以上に自由な中国人や現地の雰囲気を感じ、現代中国・中国語に興味を持つようになりました。

短期留学後、2回生からは本格的に力を入れて中国語の授業を受けるようになりました。夏休みに中国現地実習*に参加しましたが、そこでクラス分けでレベルの低いクラスに配置されるなど、自分自身の中国語の力不足を感じました。負けず嫌いの性格ということもあり、悔しい思いをばねに、3回生の夏から1年休学し長期の留学をすることを決意しました。一緒に実習に参加した学生が長期留学に行くことが決まっていたこともあり、それが背中を押す形となりました。ゼミの先生や学域の先生に相談にのってもらうことが多く、先生方に勧められて中国史に強い南開大学に孔子学院**の奨学金留学制度を使って、行くこととなりました。

いざ留学してみると、初めは知り合いがおらず、話すことに慣れていないため言葉がなかなか出てきませんでしたが、友人関係を広げる中で、徐々に他国の学生とも打ち解けることができました。半年ぐらいたつと、必死に相手の話を聞いて、頭の中で考えてから話していたものの、なんとなく理解できるようになりました。ゼミの先生からは、せっかく留学するのであれば半年では中国語に慣れてきたころに終わってしまうため、1年いくべきであるとアドバイスをいただいた通り、後半の半年で飛躍的に中国語が伸びているのを実感しました。意識せずとも相手の話していることを理解することができ、何も考えずに中国語が話せるようになりました。

留学中の勉強方法としては、特に音読に力をいれていました。フレーズごとにCDを止め繰り返す。次に日本語の意味を考えながら音声に合わせてシャドーイング。最後に耳だけで聞いて意味が理解出来たらOKという流れです。また留学中はすべてが勉強であるという意識をもって過ごしていました。ドラマを見たり、海外の友達(韓国人)と観光に行ったり、飲みに行ったりと、常に中国語を使う機会を自ら増やすようにしていました。また留学中に検定試験にも取り組み、漢語水平考試 HSK5級、漢語水平口試考試 HSKK 中級を取得することができました。

留学後は教養科目「Special Lecture (現在の科目名: Cross-cultural Encounters 2)」という中国語での授業を受けたり、卒業論文でも中国語の文献を読んだりするなど継続的に中国語と関わる機会を作りました。また継続的に勉強に取り組み HSK6級も取得することができました。

将来は留学した経験から、海外で働きたいという思いが強く、建築業界に進むことが決まっています。今後は漢語水平考試 HSKの有効期限が2年ということもあり、あらためて6級を取得したいと考えています。コロナ禍でなかなか難しいですが、話す機会も作りたいと思っています。

これから中国語を学ぶみなさんへ、きっかけがないとなかなか中国語に興味がわかないと思うので、まず実際に中国に行ってみたらいいと思います。百聞は一見に如かずです！

語句紹介

* イニシエーション実習 / 中国現地実習：文学部で行われている短期の留学プログラム。

** 孔子学院：中国語教育・文化の普及を目的とする教育機関であり、中国語講座や奨学金制度など充実したサポートが整っています。

私の中国語 + R

※2020年度インタビュー

法学部 Tさん



- # 長期留学に挑戦したい # 中国語圏で生活したい
- # 自分のレベルの低さを感じる # レベルの高い検定試験の合格を目指す
- # スピーキングとリスニングが課題 # 短期留学 # 副専攻
- # 身近なものを活用して学習する # 中国語に触れる時間を多くする # 常に目標を設定



大学に入学する前は、英語が苦手だったので特に語学を頑張りたいという意識はあまりありませんでした。しかし、いざ授業を受けてみると、初修語はスタートラインが一緒ということもあって、やれば点が取れたので楽しく授業を受けることができました。夏休みをはさんで中国語に触れない期間が続き、モチベーションが下がる時期もありましたが、2回生からは中国語の副専攻*の履修を開始しました。同じ副専攻を履修している友人からの勧めもあり、2回生の夏に異文化理解セミナー（現在：現地で学ぶ初修語セミナー**）に参加をしました。長期留学に興味があったので、まずは短期のプログラムで体験してみようと思ったからです。現地では、日本と違う文化・食事などを体験でき、とても刺激になりました。一方でオール中国語の授業を経験し、自分のレベルの低さを感じました。特に発音やリスニングに課題を感じ、先生が話していることが一度で理解できなかつたり、買い物の場面での会話に難しさを感じることもありました。そこで、空き時間に漢語水平考試 HSK の参考書などで勉強し、3週間のプログラムの終盤では、当初より理解できるようになっている実感がありました。

帰国後、漢語水平考試 HSK4 級を取得したので、さらに上のレベルの中国語検定試験 2 級の取得を目指したいと思うようになりましたが、受講していた法学部の中国語の専門科目の先生から中国語検定試験 2 級の取得は留学できる水準で外大生が目指すレベルなので難しいのではないかと言われました。しかし、それが逆にモチベーションとなりました。中華圏で好きなアーティストができたこともあり、先生からのアドバイスを受けて、中国の音楽や TV 番組などを見て、リスニングの練習を続けました。また、AI アシスタントに中国語で話しかけ、自分の発音が正しく認識されるか確認しながら発音練習を行いました。

3回生では副専攻のクラスで帰国子女の友達ができ、刺激を受けました。さらに目標にしていた中国語検定試験 2 級に合格できたことでさらにモチベーションがあがりました。できること／わかることが増えて、モチベーションが上がり、それが勉強に取り組むことにつながる好循環になりました。勉強の工夫としては、動画配信サービス、ラジオ、音楽、ニュースなど、生活で使うものを中国語に置き換えて、中国語に触れる時間を多くすることを心がけていました。

4回生の秋学期から留学に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりあきらめざるを得なくなりました。しかし引き続き、中国語の勉強は続けていて、12月に漢語水平考試 HSK6 級に合格することができました。最近ではスピーキングの練習に力を入れて勉強しています。今後の目標は、もっと中国語を流暢に話せるようになることです。中国語検定準 1 級を取得したいと思っています。また将来的には、中国語圏で生活したいため、語学を学ぶ楽しさを伝えられる日本語教員を目指し、現在は大学院進学を考えています。

語句紹介

* 副専攻：必修外国語の履修などでこれまでに培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身につけることを目的としたプログラム。（対象の学部：法学部・産業社会学部・文学部・国際関係学部・映像学部・経済学部・食マネジメント学部）
<http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/minor.html/>

** 現地で学ぶ初修語セミナー：海外体験を通じてグローバルな社会を体験することで理解し、外国語のスキルアップを目指すプログラム。